

ファムビル[®]錠250mgを 服用される方へ

腎機能が低下している患者さんや血液透析を受けている患者さんでは、投与間隔をあけて減量する必要があります

医師・薬剤師の皆様へ

〈腎機能低下患者さんへの減量について〉

ファムビル錠（一般名：ファムシクロビル）は、体内でペンシクロビルとなり、主に腎臓から排泄される薬剤です。腎機能が低下している患者さん（高齢者を含む）や透析を受けている患者さんでは、本剤の排泄が遅延し、ペンシクロビルの高い血中濃度が持続するおそれがあるため、投与間隔をあけて減量する必要があります。

これらの患者さんを見極めるためにも、投与前に問診し、必要に応じて腎機能検査を実施してください。腎機能が低下している患者さんに本剤を投与する場合は、下記の腎機能に応じた本剤の減量の目安を参考に、患者さんの状態を観察しながら慎重に投与してください。

〈重大な副作用について〉

外国において、ファムビルの重大な副作用として、「錯乱」及び「幻覚」の精神神経症状、また「多形紅斑」、「皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）」、「中毒性表皮壊死症（Lyell症候群）」等の重篤な皮膚障害が報告されています。また、腎機能低下の程度に応じ適切な減量が行われなかった腎機能障害患者さんで「急性腎不全」が報告されていますので、投与期間中は患者さんの観察を十分に行ってください。

■ 効能・効果

帯状疱疹

■ 用法・用量

通常、成人にはファムシクロビルとして1回500mgを1日3回経口投与する。

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

腎機能障害患者

腎機能障害のある患者では投与間隔をあけて減量することが望ましい。

〔（参考）腎機能に応じた本剤の減量の目安〕を参照

血液透析患者

血液透析患者には本剤250mg（1回用量の半量）を透析直後に投与する。

なお、次回透析前に追加投与は行わない。

（参考）腎機能に応じた本剤の減量の目安^注

クレアチニンクリアランス (mL/min)	調節した用法・用量
≥ 60	1回500mgを1日3回
40 - 59	1回500mgを1日2回
20 - 39	1回500mgを1日1回
< 20	1回250mgを1日1回

注）外国人における成績をもとに設定した。

禁忌を含む使用上の注意については添付文書をご参照ください。

ファムビル錠250mgを服用される方へ

このお薬は、^{たいじょうほうしん}帯状疱疹の原因である^{すいとう}水痘・帯状疱疹ウイルスが増えるのを抑える薬です。効果があらわれるまでに少し日数がかかることがあります。ご自身の判断で飲む量を加減したり、中止したりしないで、医師の指示通りに服用してください。

服用前

- 透析を受けている方、腎臓が悪いと言われたことのある方は、お薬の量の調節が必要な場合もありますので必ず医師・薬剤師にお伝えください。

服用中

- 服用中に下記のような症状があらわれた場合は、すぐに受診してください。

- 頭痛
- めまい
- いつもより眠い、または睡眠時間が増えた
- 考えがまとまらない、判断や考えがおかしくなる
- 幻覚(ないものが見える)
- 幻聴(誰もいない、何も無いのに話し声や物音が聞こえる)
- 目の充血
- 発熱
- 患部とは別のところに^{ほっしん}発疹(ぶつぶつ)や赤い^{はんでん}斑点がでてきた
- 薬を飲む前に比べて尿量が減った、または尿がほとんど出ない
- むくみが出た
- 体がだるい

その他、異常を感じた場合は、放置せず医師・薬剤師にご相談ください。

裏面も必ずお読みください

日常生活の注意

監修：東京女子医科大学 皮膚科 川島 眞 先生

● 服用中は、普段より多めに水分をとるように心がけましょう

腎臓からお薬が排泄されやすくなります

※水分の摂取を制限されている患者さんは、
医師の指示に従ってください

● できるだけ安静にしましょう

十分な睡眠と栄養をとり、

精神的・肉体的な安静を心がけることが回復への近道です

● 患部を冷やさないようにしましょう

冷えると痛みがひどくなりますので、

できるだけ温めて血行をよくしましょう

● 水ぶくれは破らないように気をつけましょう

水ぶくれが破れると、細菌による感染が起こりやすくなります

● 乳幼児との接触は控えましょう

水ぼうそうにかかったことのない乳幼児には、

水ぼうそうを発症させる可能性があります

- その他、わからないこと、気になることがあれば、
医師・薬剤師にご相談ください。